

1. **目的**：生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づける。
また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。
あわせて情報発信としての校内放送活動の発展をはかる。

2. 主催・主管

【アンデパンダン大会】

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

主管：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会

3. 日時

2004年11月23日(火) -勤労感謝の日-

- ・役員校 控室集合 8：30（会場準備8:40～9:00）
- ・委員校 控室集合 8：30（会場準備8:40～9:00）
- ・審査員 控室集合 9：00
- ・受付 9：00～ 9：30
- （・総文祭部門受付 9：00～ 9：40）
- ・作品提出 9：20～10：00
- ・各会場審査基準打合わせ 9：50～10：00
- ・審査開始 10：00～16：00
- ・閉会式 16：00～17：00

4. 会場：川崎市立商業高等学校（上履き必要）

5. 参加資格

2004年10月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会加盟校に在学し、校内放送に携わっている放送部・委員会の生徒であること。

ただし、参加できるのは1、2年生とし、審査員説明会と大会当日、審査員を出さない学校は参加資格がないものとする。審査員は1名以上とし、3年生でもよい。

DJ部門のみ3年生の参加も可とする。

6. 部門・参加本数・参加費用

【アンデパンダン大会】

	アナ	朗読	報道	DJ	文芸	放送劇
参加本数	5人	5人	2本	1本	1本	1本
参加費用	1作品 / 1本毎 300円					

7. 表彰

アナウンス・朗読：各会場1～6位

番組制作：各会場1～4位

2 - 2 8 . 審査

参加校各 1 名以上の生徒が審査にあたる。

審査員は次の注意を守ること。

部長（委員長）もしくはそれに準じる者であること。

大会当日中の交代は不可。

10月23日（土）の審査員説明会に出席すること。

3年生も可

9 . 審査基準、方法

高校生として望ましいアナウンスメント、朗読、番組であること。

別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。

規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。

詳細については、審査員および大会実行委員長の協議による。

最終判断は、大会実行委員長の責任において行なう。

10 . 参加申込および審査員説明会

期日：2004年10月23日（土）

会場：川崎市立商業高等学校（上履き必要）

時間：参加申込 14：00～14：30

審査員説明会 14：30～16：30

来場者：参加申込に1名

審査員説明会に1名以上（審査員本人） 計2名以上

提出物： 申込用紙・領収書（要 校長印・顧問印）

出場カード

審査部門希望カード（アンデパンダン大会出場校）

参加費（アンデパンダン大会出場校）

注1）郵送などによる参加申込は一切受け付けない。

注2）審査員説明会への出席者は審査員本人であること。

正当な理由により出席できない場合は、必ず代理の者が当日出席すること。

FAXによる申し込みは認めない。

注3）提出物については、くれぐれも間違いや忘れ物のないよう、慎重に準備し、顧問の確認を受けること。

11 . 大会当日の受付（上履き必要）

受付 9：00～9：30

受付でプログラムを受け取り、審査会場・番号を確認して、封筒・スクリプト（2部）・MD・テープに記入する。番組部門は著作権処理受付で、支払い等を必ずする。

封筒提出 9：20～10：00（時間厳守）

提出が遅れると順位算定の算出外となります

記入を終えた作品封筒を、各審査会場に各自持参し、審査補助係に提出する。

12 . アンデパンダン大会諸規定

A アナウンス部門諸規定

内容：自校のニュースや解説など、高校生活中から生まれた若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。原稿と実際のアナウンスに相違があってはならない。

自校の校内放送に使用する内容でなければならない

時間：1分10秒～1分30秒。

番号、氏名を含む。

計時：最初の声から最後の声までとする。

但し、キューサイン直後から読み始めるようにすること。

B 朗読部門諸規定

内容：次の5作品から1編を選び、自己の表現したい部分をきめて朗読する。

作品の脚色は認めない。また、原稿と実際の朗読に相違があってはならない。

- 1) 『李陵・山月記』より「李陵」 中島 敦 著 (新潮文庫)
- 2) 「日本語と私」 大野 晋 著 (新潮文庫)
- 3) 「太郎物語 - 高校編 - 」 曾野 綾子 著 (新潮文庫)
- 4) 「二人がここにいる不思議」 レイ・ブラッドベリ 著 伊藤 典夫 訳 (新潮文庫)
- 5) 「雨月物語」 上田 秋成 著

()内の出版社に限る。 1) については「李陵」のみとする。

4) については収録作品のいずれを選んでも良い。 5) は現代語訳不可、出典は問わない。
時間：1分30秒～2分00秒。

番号、氏名、作者名、作品名を含む。

計時：最初の声から最後の声までとする。

但し、キューサイン直後から読み始めるようにすること。

C 番組制作部門諸規定

種類と時間：

文 芸	：	9分20秒～10分00秒
録音D	：	9分20秒～10分00秒
報 道	：	6分30秒～7分00秒
放 送 劇	：	15分00秒以内

内容：

生徒自らの創作に限る。

文芸に含まれる作品は次のような作品とする。

- ア) 劇形式を主としないもの。 イ) ナレーションが中心となるもの。
- ウ) 創作で朗読形式をとるもの。

制作者：

3年生の協力も事情によっては認めるが、その場合はスクリプトの末尾に
学年・氏名・係(役)を明記すること。

使用メディア：

ア) **MD標準モード**を使用。

イ) 再生エラーがあるので、完成後、複数の機械で再生してテストすること。

MDは1作品をひとつのファイルでまとめ、簡単に作品時間がわかるようにする。

編集を数回行うとマージできなくなることがある。その場合は他のMDにダビングして再編集する。

再生はMD先頭の1曲目のみを再生する。

計測は、1曲目の時間を計測する。

録音・再生：

ア) 左右両チャンネルに同じ音を録音する。

イ) 作品前後の無音部分は切り詰め、作品時間がわかるようにする。

ウ) 審査は、モノラル、で再生して行なう。

エ) 録音は最後に「制作は〇〇高等学校放送部(委員会)でした」という
クレジットコールを入れる。

計時：

ア) 計時は、1曲目の時間を計測する。

イ) クレジットコール終了とともに再生を終える。その後どんな音が入っていても
審査の対象とはならない。

ラベル：

ア) MDケースに別紙16の「作品票」を貼ること。

イ) MD本体の表面に、部門名・会場名(当日わかる)・学校名(略称可)を明記した
紙を貼ること。

著作権処理について： 18 著作権処理についてをよく読んで、適切に処理すること。

2-4 生DJ番組部門諸規定

種類と時間

生DJ : 10分00秒以内(セッティング時間を含む)

内容: 生徒自らの創作に限る。

最低、異なる3曲以上の楽曲を使用すること。

制作者・出場者:

4名までの出場を認める。3年生の参加も可とする。

ただし、当日アナウンス・朗読部門に出場する生徒は出場できない。

計時: 生DJ 審査補助係のコールに続く審査員のキューにより計時をスタートさせ、

出場校はセッティングを開始し、そのまま番組を始める。

最後のクレジットコール(例:「担当は・・・高校放送部でした」)

終了時に計時をストップする。

規格:

音源: CDのみ ステレオ再生

(複製音源(CD-Rなど)使用不可)

使用機材: CDデッキ3台・マイク2本・ミキサー1台

Qシート: 番組の進行のたまかな流れを説明するQシートを作成し、2部提出する。

用紙はA4、記入の内容は自由。

リハーサル:

別室において同じ機材を用いて10分以内で行うことができる。

1.4 スクリプトに関する規定

NHK大会で使用した原稿用紙を使用する。

作品1本(1人)について2部提出する。

第51回NHK杯全国高校放送コンテストの様式規定に従って作成する。

アナウンス・朗読 様式規定1 番組 様式規定3

生DJ 形式は自由(A4用紙を使用する)

スクリプトとMD、及びJASRAC申請用紙指定枚数を角3の封筒に入れ、封筒の表にはスクリプトの表紙と同様の記載をする。

スクリプト表紙(及び封筒表書)の見本

<アナウンス、朗読>

作品名	作者名	氏名	学校名	朗読部門
こころ	夏目漱石	宮田輝	県会高等学校	[A] 場 [13] 番

<番組>

制作代表者	再生時間	タイトル	学校名	報道部門
神奈川次郎	9分40秒	ああ青春	県立神奈川高等学校	[B] 会場 [22] 番

注意1 アナウンス部門は、作者名・作品名は不要。

注意2 []のなかは、大会当日、プログラムを見て記入する。

2 - 5

15. その他

上記以外の規定については、第51回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会の実施要領に準じる。

16. 諸注意

会場校は、上履が必要なので必ず持参すること。

閉会式終了後、スクリプト・MD等を返却するので必ず受け取ること。

大会当日の運営に関することは、すべて部長等、部の責任者を通して本部に申し出ること。

ゴミは会場校に残さず各自で自宅に持ち帰ること。